創業の精神

人が手掛けないことこそやる

創業者

加藤 由雄

創業時のテールランプスイッチ

創業者 加藤由雄は終戦から3年後の昭和23年（1948年）「スイッチ製作は手間がかかり誰もやりたがらない。」そう聞いて「必要ならば人が嫌がることでも誰かがやらねばならない。これこそ自分たちが新しく進出する分野だ。」と、スイッチの生産を思い立ち、愛知県西春日井郡西枇杷島町（現清須市）に『株式会社 東海理化電機製作所』を設立しました。

必要であっても利益を確保できなければ事業は持続できません。

当社は創業以来、社会のニーズをかぎ分け、かたちにする開発力、必要であれば設備や金型を独自で開発し、適切なコストで生産する生産技術力を磨き上げ、他社が手掛けていない商品をいち早く商品化して収益化してきました。

社会が変わり当社が手掛ける商品が変わっても、「人が手掛けないことこそやる」という創業者精神は、当社の未来への道標になっています。

経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす